

2/13

大会の成功を祝いました

8月に開催した「第24回FIBA ASIA女子バスケットボール選手権 長崎／大村大会」組織委員会の第2回総会が市内のホテルで開催されました。

総会では、日本バスケットボール協会の麻生太郎会長が、大会の成功に感謝の意を述べられた後、大会の事業報告などについて協議が行われました。

開催地として出席した松本崇市長は、「10万人未満の中小都市でも大きな国際大会を開催できた経験は、将来にわたり大きな財産となりました。」とコメントし、「昨年から続いた大イベントの幕を下ろしました。」



第24回FIBA ASIA女子バスケットボール選手権 長崎/大村大会組織委員会 第2回総会

3/4

特産品を持ち寄り親交を深めました

姉 妹都市交流の一環として「大村・飯南・伊丹の味覚の会」が、兵庫県伊丹市で行われました。

伊丹市、島根県飯南町、大村市が、それぞれの地域の食材を使った郷土料理などを持ち寄り、大村からは「ごみや大村寿司などが振る舞われました。参加した皆さんは、それぞれの味覚を味わいながら姉妹都市間の交流を深めました。

また、百年前日本から米国ワシントンに贈られた桜の台木が伊丹産だったことから、「日米友好の桜百周年」を記念して大村市へ桜の苗木の寄贈を受け、野岳湖公園に植栽しました。



大村・飯南・伊丹の味覚の会

3/10

新商品の開発でふるさと大村を活性化

新 商品を開発し、ふるさと大村の顔となる地元産品を創り出す「おおむらじげたまグランプリ」が市コミセンで開催されました。

市内の9事業者から15作品が出展され、市民審査員と専門審査員の厳正な審査が行われました。

最優秀賞は、「おおむら夢ファームシユの「君を愛す（黄身をアイス）」が受賞。また、優秀賞には、和元大村店の「大村殿様ロール」、長工醤油味噌協同組合の「香り立つほん酢」、パン工房たくみの「大村ゆでピーあんぱん」がそれぞれ選ばれました。



第5回おおむらじげたまグランプリ



大村を全国発信！
NHKのど自慢

市長コラム vol.8

去る2月26日、NHKのど自慢を13年ぶりに開催しました。出場者を募集したところ、982組もの応募があり、250組が予選に参加、20組が本選に出場されました。

予選は、本選前日に午後1時から約4時間をかけて行われ、本番さながらの盛り上がりを見せました。市のマスコットキャラクター「おおむらんちゃん」(着ぐるみ)も市職員とともに参加、残念ながら本選に進むことはできませんでした。

当日は、NHK長崎放送局長の合田敏行さんと私が、のど自慢開催にあたりステージで皆さんにごあいさつ。私はいさつのなかで、北島三郎さんの「北の漁場」の一節を歌いあげ、会場からはヤンヤの喝采を受けました。やはりステージで歌うのは緊張しましたが「大村から全世界、特に東日本へ元気を送る」という気持ちで熱唱しました。

そして、いよいよ生中継の開始！予選を勝ち上がった20組の皆さんが日頃の練習成果を遺憾なく発揮され、個性あるパフォーマンスに、会場も大いに盛り上がりました。

本選は、あつという間の45分でしたが、合格者は5組全員が大村市出身でした。チャンピオンは「I LOVE 大村」と胸に書いたTシャツを着た、安田君と小林君という大学生のお二人でした。彼らはこよなく大村を愛し、大村の人情や自然の美しさをPR。また、「男の人生を歌い上げた92歳の松尾茂さんの熱唱など、大村から被災地へ力強いメッセージを発信できたと思います。

坂本冬美さんと西方裕之さんのゲストに加え、放送の冒頭では「大村寿司」や「五色餅」などが紹介され、70周年の節目の年を迎え、さらなる発展へ踏み出す大村を全国にPRできたと喜んでいきます。